

# 第4回予算決算審査特別委員会（2日目） 要点記録

開閉会日時		令和7年10月9日 木曜日		開会	10:00	会議場所		別海町議会 議場		
				閉会	11:35					
議員の出欠	1 番	市川 聖母	出席	7 番	横田 保江	出席	13 番	中村 忠士	出席	
	2 番	吉田 和行	出席	8 番	田村 秀男	出席	14 番	佐藤 初雄	出席	
	3 番	高橋眞結美	出席	9 番	小椋 哲也	出席	15 番	戸田 憲悦	出席	
	4 番	伊勢 徹	欠席	10 番	外山 浩司	出席	16 番	西原 浩	出席	
	5 番	貞宗 拓雄	出席	11 番	今西 和雄	出席				
	6 番	宮越 正人	出席	12 番	松原 政勝	出席				
出席説明員	理事者 機関の長等	町長		副町長		教育長		代表監査委員		
		曾根 興三	出席	浦山 吉人	出席	相澤 要	出席	竹中 仁	欠席	
		選挙管理委員長		農業委員会会長						
	幹部職員	総務部長		総合政策部長		経営管理部長		福祉部長		
		選挙管理委員会書記		地域総政課長		財政課長				
		伊藤 輝幸	出席	松本 博史	出席	寺尾 真太郎	出席	宮本 栄一	出席	
		保健生活部長		産業振興部長		建設水道部長		別海病院事務長		
		小川 信明	出席	小野 武史	出席	外石 昭博	出席	三戸 俊人	出席	
		会計管理者 出納室長		教育部長		農業委員会事務局長		監査委員事務局長		
		干場 富夫	出席	干場 みゆき	出席	川畑 智明	出席	木戸口 誠	出席	
		総務部次長 西春別支所長、西公民館長		総務部次長 税務課長		総務部次長 総務防災・基地対策課長		総合政策部次長 総合政策課長		
		竹中 利哉	欠席	松田 勝広	出席	岩口 裕昭	出席	小村 茂	欠席	
		福祉部次長 福祉課長		保健生活部次長 保健課長・こども家庭センター長		保健生活部次長 町民課長		産業振興部次長 水産みどり課長		
		石戸谷 友絵	欠席	千葉 宏	出席	谷村 将志	出席	大坂 恒夫	欠席	
		建設水道部次長兼 上下水道課長		教育部次長 生涯学習センター長・中央公民館長		教育部次長 学校教育課長・学校給食センター長		教育部次長 学務課長		
		新堀 光行	出席	福原 義人	欠席	田畑 直樹	欠席	角川 具哉	欠席	
		課長職 ほか	情報広報課長		尾岱沼支所長 東公民館長		人事財産課長		介護支援課長	
			山田 哲哉	欠席	門間 勝司	欠席	齋藤 陽	出席	高橋 勇樹	出席
	老人保健施設すこやか事務長		生活環境課長		母子健康センター長		農政課長			
	渡辺 久利		出席	上田 健一	欠席	根本 博美	欠席	皆川 学	欠席	
	商工観光課長		管理課長		建築住宅課長		事業課長			
	堀込 美穂		欠席	入田 浩明	欠席	廣島 静治	欠席	佐竹 和仁	欠席	
	別海病院事務課長		指導参事		生涯学習課長 総合スポーツセンター館長		図書館長 郷土資料館長			
	椋木 直人		出席	瀬川 航平	欠席	立澤 雅彦	欠席	堺 啓	欠席	
	町民課主査		町民課主査		老人保健施設主査		上下水道課主幹			
	加藤 美和		出席	永田 恵一	出席	佐藤 裕美	出席	西田 和弘	出席	
	上下水道課主幹		上下水道課主査		別海病院事務課主幹		別海病院事務課主幹			
	植松 拓也	出席	木村 洋平	出席	大森 圭介	出席	奈良 司	出席		
事務局職員	事務局長	入倉 伸顕	事務局主幹	木幡 友哉	合計	2名				
傍聴者数	一般	0名	議会モニター	0名	議会サポーター	0名				
	報道関係者	0名			合計	0名				

会議に付した事件及び会議結果など		
発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。	
委員長 7番 横田	10:00 開会 開会挨拶 出席委員 15名、欠席委員 1名、会期 2日 令和 6 年度別海町国民健康保険特別会計決算審査	
委員長 7番 横田	歳入 区分項ごとに審査する。	
委員 一同	質問なし。	
委員長 7番 横田	歳出 区分項ごとに審査する。	
委員長 7番 横田	224 ページ款 4 項 2 特別健康診査等事業費 事前質問答弁票 質疑No.113 事業名) 特定健診受診率向上事業 節) 委託料 細節) 業務委託料 4,425,054 円	
委員 1 3 番 中村	①令和 3 年度決算審査では、「本事業は北海道国民健康保険団体連合会が民間事業者と協働で実施する事業に参加するもので、期間は令和 3 年度から 3 か年となった」と説明している。3 か年という、令和 5 年までということになるが、道国保連合の事業は継続しているのか、それとも終了しているのか。	
町民課長 谷村	①国保連のこの事業については、現在も継続して実施している。	
委員 1 3 番 中村	いつまでの事業ということになっているか。	
町民課長 谷村	国民健康保険運営方針を根拠とした事業が現在実施されており、少なくとも令和 11 年度までは継続される見込みで、明確な終了期限は設定されていない。	
委員長 7 番 横田	225 ページ款 4 項 2 特別健康診査等事業費 事前質問答弁票 質疑No.114 事業名) 特定健康診査等事業経費 11,177,770 円	
委員 1 3 番 中村	①令和 5 年度、6 年度の対象者数、受診者数はどうだったか。 ②当事業に関して受診率は 37.6%ということだが、受診率向上事業に関する受診率は 34.5%となっている。対象者の範囲の違いによるものだと考えるが、どういう違いがあるのか。また、どうして分けているのか、教えてほしい。	
町民課長 谷村	①令和 5 年の実績は、対象者数が 3,068 人で受診者数が 1,094 人。続いて令和 6 年度は、対象者数が 2,939 人、受診者数が 1,106 人。 ②特定健診受診率向上事業では受診勧奨として、年度内に国保を脱退した方や年度途中から国保に加入した方も含めて、勧奨通知を行っていれば対象人数に含めて計算している。一方、特定健診の審査事業は、1 年間を通じて国保加入者であることが条件となることから、向上事業とは違って、途中で脱退した方や加入した方は除かれて算出されるため、受診率に違いが生じている。	
委員 1 3 番 中村	どちらも受診率は、令和 5 年、令和 6 年比べてみると、ほぼ向上しており、率は同じ数字になっている。町としては、別に分けなくてもいいと思うが、どちらを基準にして政策をつくっていくということになるのか。	
町民課長 谷村	特定健診の受診率向上事業のほうに重きを置いて実施したいと考えている。	
委員長 7 番 横田	歳出終了	
委員長 7 番 横田	会計全体で質疑あるか。	
委員 一同	なし。	

委員長 7番	横田	令和6年度別海町国民健康保険特別会計決算審査終了
委員長 7番	横田	令和6年度別海町介護サービス事業特別会計決算審査
委員長 7番	横田	歳入 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長 7番	横田	歳出 区分項ごとに進める。
委員長 7番	横田	237ページ款1項1 介護サービス事業費
		事前質問答弁票 質疑No.115
		事業名) 老人保健施設改修事業 節) 工事請負費 細節) 施設・設備等工事請負費
		8,147,615円
委員 9番	小椋	・再質問なし
委員長 7番	横田	会計全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長 7番	横田	令和6年度別海町介護サービス事業特別会計決算審査終了
委員長 7番	横田	令和6年度介護保険特別会計決算審査
		歳入 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長 7番	横田	歳入終了
		歳出 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長 7番	横田	歳出終了
委員長 7番	横田	会計全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長 7番	横田	令和6年度介護保険特別会計決算審査終了
委員長 7番	横田	令和6年度別海町後期高齢者医療特別会計決算審査
		歳入 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長 7番	横田	歳入終了
		歳出 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長 7番	横田	歳出終了
委員長 7番	横田	会計全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長 7番	横田	令和6年度別海町後期高齢者医療特別会計決算審査終了
委員長 7番	横田	10:22 暫時休憩
委員長 7番	横田	10:23 再開
委員長 7番	横田	令和6年度別海町水道事業会計決算審査
		歳入 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長 7番	横田	歳入終了
		歳出 区分項ごとに進める。
委員長 7番	横田	19ページ款1 営業収益

		<p>事前質問答弁票 質疑No.118</p> <p>589,782,775 円</p> <p>・再質問なし</p>
委員 5 番	貞宗	
委員長 7 番	横田	歳出終了
委員長 7 番	横田	会計全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長 7 番	横田	令和 6 年度別海町水道事業会計決算審査終了
委員長 7 番	横田	令和 6 年度別海町下水道等事業会計決算審査
		歳入 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長 7 番	横田	歳入終了
		歳出 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長 7 番	横田	歳出終了
委員長 7 番	横田	会計全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長 7 番	横田	令和 6 年度別海町下水道等事業会計決算審査終了
委員長 7 番	横田	令和 6 年度町立別海病院事業会計決算審査
		歳入 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長 7 番	横田	歳入終了
委員長 7 番	横田	歳出 区分項ごとに進める。
		2 ページ款 1 項 1 建設改良費
		事前質問答弁票 質疑No.116
		事業名) 別海病院設備更新事業 219,126,819 円
委員 9 番	小椋	・再質問なし
委員長 7 番	横田	2 ページ款 1 項 1 建設改良費
		事前質問答弁票 質疑No.117
		事業名) 院内総合情報システム整備事業 219,126,819 円
委員 9 番	小椋	・再質問なし
委員長 7 番	横田	歳出終了
委員長 7 番	横田	会計全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長 7 番	横田	令和 6 年度町立別海病院事業会計決算審査終了
委員長 7 番	横田	以上で令和 6 年度別海町各会計決算審査の 8 件終了
		総括質疑の取りまとめを行うので委員会室 2・3 に移動願う。
委員長 7 番	横田	10:32 休憩
委員長 7 番	横田	10:40 再開
委員長 7 番	横田	総括質疑について
		指摘事項、創意工夫に関する事項などの意見をいただく。
委員 1 番	市川	・今年度は黒字で終わったことは評価できる。病院関係で患者数が大幅に減少している点が気になる

委員 2 番	吉田	<p>る。医師不足は理解するが、内科以外の科も減少傾向にある。この分析が必要である。その他の事務事業は概ね適切に運営されている。車両関係で業務ミスがあったが、今年度は大きな問題はない。</p> <p>・地域おこし協力隊関連事業について、昨年も指摘したが事業の整理が複雑化している。令和 7 年度に創意工夫するとの回答があったが、ふるさと納税関連も含め、町民への見える化・分かりやすい見える化が早期に必要である。</p>
委員 3 番	高橋	<p>・ふるさと応援寄附金を充当した事業が決算で分かりづらい。寄附者の意見を反映した使い道や事業の成果を明確化し、周知が必要である。介護サービス事業会計で老人保健施設の使用料未納が増額している。未納者が安心して暮らせるよう積極的に解決してほしい。介護保険特別会計の収入未済額も同様で、給付制限によるジレンマが生じるため、未納対策を進めるべきである。</p>
委員 5 番	貞宗	<p>・令和 6 年度はそれなりに成果が上がっている。しかし病院については医師不足で改善が見られない。令和 7 年度も同様の状況が続くと思われるため、医師不足の改善策を検討し、病院の見直しを行ってほしい。</p>
委員 6 番	宮越	<p>・町の抱える問題を系列で解決しようとする事業の取組が去年より目立ち、今後も期待できる。一方で、教育委員会のように予算を持ちながら効果を語れない状況があり、職員間の格差が大きすぎる。この状況の改善が必要である。</p>
委員 8 番	田村	<p>・6 点について述べる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ふるさと応援基金の使途が決算書上で分からない。25 億円を取り崩し各事業に充当しているが、9 事業への充当額が不明。ホームページでの公表も途中で止まっている。予算の充当一覧表に対応する決算数値を示すべきである。</li> <li>2. 補助金などの外部資金活用がされていない。電気自動車購入で補助金制度があるのに活用していない。</li> <li>3. 6,000 万円のプロモーションとブランディング事業の内容が分からない。質疑しなければ内容が不明で、町民への見える化が必要である。</li> <li>4. 職員住宅と教員住宅の考え方に違いがある。教員住宅 44 戸が空いているが対策が不十分である。</li> <li>5. 不用額が執行額の 3 倍になるなど、事務手続きが不適切。補助金・交付金の変更協議を怠っている。</li> <li>6. 転換交付金の基金が 7,000 万円まで減少し、あと 3 年しかもたない。1 市 4 町で財源確保の協議が必要である。</li> </ol>
委員 9 番	小椋	<p>・ふるさと納税関係の決算上の分かりやすさと町民への PR が必要である。人気の返礼品を町民に知らせることで、別海町の素晴らしさを再認識するきっかけになる。不用額と補助金申請忘れは、事務のルールを決めることで防げる。財務会計システムの活用や購入時のルール設定が必要である。地域課題解決に向けた具体的取組で成果が出ている事例は評価できる。病院については、出張医との新しいコネクションを生かして医師不足や病院経営の改善に取り組んでほしい。</p>
委員 10 番	外山	<p>・一般会計からの繰入れが 11 億円になり、3 億円増加している。病院の再建計画も内科医不足でスタートから頓挫している。内科医を 1 人増やす方向での働きかけが重要である。ふるさと納税に依存しない体制づくりが今後重要になる。</p>
委員 11 番	今西	<p>・ふるさと納税の予算配分は明確だが、使途の結果が見えない。監査委員も指摘しており、寄附者と町民に流れを伝える必要がある。地域おこし協力隊の体制や活動内容をさらに見えるようにする必要がある。協力隊の関わりが実際には多く見えてきているため、行政側も現実の動きを町民に伝えるべきである。</p>

委員 12 番	松原	・毎年病院が決算の指摘事項になっているが改善されていない。出張医体制は常勤医より費用がかかる。外来患者が減り入院患者が増えているのは医師不足の影響である。別海町 1 万 3,800 人が頼れる町立病院として、町民に対応できる医療機関にする必要がある。一般会計からの繰出しが年々増加することは避けられない。
委員 13 番	中村	・基礎的財政力力の問題について指摘する。財政力指数が 30.4%と低い水準にあり、町長が財政的に厳しいと言う割に切実感が伝わらない。経常収支比率も 90%を超え硬直化している。これらの改善が必要である。地域おこし協力隊事業は進んでいる分野とそうでない分野がある。移住定住対策が進んでいない。ふるさと応援寄附金は恒常的財源ではないとの監査指摘を受け止めるべきである。ゼロカーボンシティー宣言に合わせた森林行政の新たなステージが必要である。地域循環拠点維持確保緊急対策事業のルール化が不十分である。ふるさと交流館の調査結果を町民に出すべきである。病院経営改善計画が医師不足で機能しておらず、現状での経営計画が必要である。
委員 14 番	佐藤	・他町から別海町はふるさと納税で予算が潤沢だと言われるが、時限的なものである。資金の流れの見える化と情報共有が必要である。人口減少が確実な中、集中と選択により事業を絞り込む必要がある。町民との情報共有により、住んでよかった・住んでみたいまちづくりを進めるべきである。
委員 15 番	戸田	・別海病院に 1 週間入院した体験から、患者数が激減していることを実感した。医師確保の努力が全くされていない。町長が西春別の内科医の表敬訪問時に不在だった件は問題である。ふるさと納税については用途が不明で計画性がなく、行き当たりばったりである。会計が甘くなる現象がある。
委員 16 番	西原	・一般会計からの繰入れが 3 億 2,000 万円増え 11 億 6,600 万円になった経営状態の改善が必要である。病院経営強化プランが現実と合わなくなっており、早急に見直すべきである。医師確保については、奨学金受給者とのつながりを大切にし、様々なチャンネルや方法を考えて進めるべきである。地域おこし協力隊については、個人のコラムではなく、全体がどういう活動をしているかが分かる体系的な仕組みが必要である。
議会事務局主幹	木幡	・指摘事項として、1)病院経営の改善（強化プランの早期改定、医師確保）、2)不用額精算の徹底・事務処理ミスの改善を挙げる。創意工夫事項として、1)ふるさと納税に関する町民への見える化、2)地域おこし協力隊の事業と個々の活動の見える化を挙げる。
委員 9 番	小椋	・事務上のミスについては、職員へのダメージを考慮し「ミスを防ぐための体制づくり」という表現にすべきである。進んでいる部署とそうでない部署の格差があるため、庁舎内でうまくいったやり方を共有する仕組みが必要である。
委員 13 番	中村	・昨年と同様に、回答を要する指摘事項と、回答不要だが意見として出された事項の両方を含めた報告にしてほしい。
議会事務局主幹	木幡	・昨年と同じ体裁で、回答を要する指摘事項 2 点・創意工夫 2 点と、その他の回答不要意見を付して提出する。
委員長 7 番	横田	・本日各委員から出された意見を正副委員長と事務局で整理した後タブレットで各委員に確認して
委員	一同	ただき、了承いただければ町側に提出したいと思うが意義はないか。
委員長 7 番	横田	・異議なし
委員長 7 番	横田	・次回第 5 回委員会を 11 月 5 日に開催し、町側の回答内容確認と各会計の討論採決を行う。
委員長 7 番	横田	閉会挨拶
		閉会 11:35